

式辞

暖かな日となり、桜も満開を迎え咲き誇る、この春のよき日に、入学されます新入生のみなさん、「入学おめでとうございます」

本日、125名の新入生を迎えられますこと、在校生、教職員一同、本当にうれしく思います。

新型コロナウイルス 対応のため、来賓のご臨席及び在校生の出席もかなわない入学式となりました。

しかし、新入生のみなさん、みなさんは、小学校六ヶ年の課程を立派に修め、今日から、みなさんの先輩が築いてこられた、歴史と伝統のある、玉出中学校の第七十期生となりました。

今、みなさんの顔を見ていると、どの目も清らかに澄み、強い意思を表すかのように輝いています。

その目が語っているみなさんの今持っている心を「初心」といいます。どうかその初心を大切に、しっかりと前を見つめて中学校生活を送ってほしいと思います。

入学にあたり、みなさんに「自分に厳しく・他人に優しく」という言葉を贈りたいと思います。

まず、「自分に厳しく」ということですが、

中学校の三年間は、自分の進路を見つけるための「自分磨き」「自分づくり」の時間であるともいえます。

みなさんは、一人一人がほかの人にはない、素晴らしい才能と個性を持っています。

しかし、どんな素晴らしい才能や個性を持っていても、努力して磨かなければ、輝くことはできません。

自分を磨くには、「自分に対する厳しさ」と、自分を信じ、苦手なことにも挑戦する「勇気」、途中であきらめず、最後までやりとげる「忍耐」が必要です。

次に、「他人に優しく」ということですが、

複数の小学校からやってきたみなさんは、二・三年生や先生方を含めて、今日からたくさんの

人との新しい出会いが始まります。

小学校でも、仲間づくりについて学んできたことと思いますが、一番大切なことは、どれほど相手の立場に立って考えられるかということです。

新しい中学校の集団の中でも、互いに、一人一人の違いを認め合いながら、助け合い、学び合える、そんな仲間づくりを実現してください。

この「自分に厳しく・他人に優しく」を一言でいうと、どんな熟語になると思いますか。

それは校訓にもある「自律」という言葉になります。

自分をしっかりと律する・コントロールすることが中学校生活を送るうえで、大切なことであることを覚えておいてください。

「自分を大切に、そしてあらゆる人を大切にできる自分」をつくりましょう。

今日からみなさんは「人にやさしい学校、人にやさしい心」を育てるため、在校生のみなさんと、一緒に取り組んでいきましょう。

最後になりましたが、保護者の皆様、本日は、お子様のご入学おめでとうございます。

中学校の三年間は、子どもから大人に、心身共に大きく成長する時期です。しかし同時に、失敗したり、悩んだりする時期でもあるかと思います。

そんなときには、「自分に厳しく・他人に優しく」、つまり「自律」という言葉を念頭に置いていただき、正しい方向に進めるよう応援してあげてほしいと思います。

教育というものは、一年で花や実がなる農業ではなく、十年・二十年先を考える林業に似ているとよく言われます。まさにまっすぐ立派な木として成長することを願う作業であると考えます。

学校・家庭・地域が互いに協力しあって、子どもたちの心の中に「わがまま」「自分勝手」という成長を妨げる横枝が生えてきたときは正し、堂々とした大木に成長するよう、協力し合ってまいります。

また、本校は、「人にやさしい生徒・人にやさしい玉出中学校」づくりを目指し、積極的に取り組んでまいります。そして、本校職員と一丸となって、学力の向上に努めてまいります。

しかしこれは、保護者のみな様のご協力なくしてはできません。どうぞ、絶大なるご支援をお願いいたします。

新入生のみなさんが、一日も早く、中学校生活に慣れ、授業に、学校行事に、クラブ活動に、積極的に取り組み、充実した学校生活を送られることを祈念して、式辞とさせていただきます。

令和二年四月三日

大阪市立玉出中学校

校長 村瀬 香織